

櫛引地域まちづくり未来事業計画(素案)

9月段階まとめ (H3 1 予算要求にかかるもの)



【櫛引庁舎素案】

《新規・継続発展事業》

No.	新規継続の別	振興計画	事業名	事業内容 (個人・団体等への補助金の場合はその旨明記すること)
1	新規 活性化 拡大	1.2.3	櫛引フルーツランド(仮称)構想	観光果樹園、地域活性化施設など、産直めぐり周辺を広域観光拠点として拡張整備、果樹生産の拡大、6次産業化、ブランド化を推進
2	新規	2	NATURE LAND(自然体験学校)構想	たらのき代スキー場、ほのかたらのき代の機能を見直し、自然体験メニューを導入しながら、対象を家族、学校、団体向けに特化した通年自然体験施設として運用を見直す
3	新規	3.5	やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業	黒川橋下流の両岸を一体のエリアととらえ、レンタサイクルの配置、遊具整備、エリア看板マップ等を設置し、住民いこいの場の拠点として桜並木等を管理
4	新規	3.5	櫛引地域の情報発信(櫛引PR事業)	SNS(facebook/twitter)、YOUTUBEなどを活用し、櫛引の日常風景、観光情報を発信、KCTの更なる活用で小中学生向け授業などの独自プログラムを展開
5	新規	1.3	南部地域広域観光拠点と交通基盤整備	市南部地区(櫛引、朝日、黄金等)との広域観光連携を推進するため、フルーツランド(仮称)を拠点に観光商品の開発提供、エージェントへの売り込み、観光客の2次交通輸送システムの開発等実施
6	新規	3.4	歴史と観光のまちづくり事業	装束や能面、甲冑の着付け、コスプレ写真撮影、音・映像による黒川能の幻想的空間体験、綴織りのブランド化などの歴史と観光が融合した体験プログラムを提案
7	新規 活性化 拡大	2	都市農村交流促進事業	横浜市青木小学校や鎌倉女子大学との交流実績を活かし、空き家活用のゲストハウスや農家民宿・農家カフェの整備・強化により、交流人口の拡大を図る
8	新規	4.5	丸岡城跡環境整備事業	駐車場を整備し、マイクロバス等での来訪やイベント開催時の利便性を図る
9	新規	4.5	伝統芸能による地域活性化事業	保存会ごとの聞き取り調査、保存会同士の交流、伝承研修会、伝統芸能発表会(イベント)の開催などを通して芸能の継承、地域活性化と郷土愛の醸成を図る
10	新規	4	伝統芸能アーカイブ事業	黒川能の映像データ、音声データをデジタル化して記録保存し伝承活動に活用
11	新規	5	デマンドバス運行事業	高齢化社会の進展を見据え、交通手段の確保について実態をとらえながら、住民ニーズに沿った新たな公共交通システムの構築を推進
12	新規	5	地域独自の交通安全啓発	『交通安全の日』の旗を作成、櫛引地域全戸に配布し、交通安全啓発運動の交通安全の日(毎月1日)に旗を立てる取り組みを継続促進
13	新規	5	地域コミュニティ活性化事業	集落支援員の設置、地域コミュニティ実態調査・ワークショップの実施、計画策定、地域運営の担い手育成、コミュニティ組織の在り方検討
14	新規	5	「空にかける階段」information booth整備事業	富樫氏の作品を紹介するブースの整備。櫛引地域の既存施設内に改修整備し、市内にある作品群を観賞、回遊できる仕組みをつくるもの
15	新規	5	いきいき健康活動拠点運営事業	「地域介護予防活動支援事業」の運動・体操+任意の活動により高齢者の健康維持と生きがいになる活動拠点を整備、再構築

※事業区分 1:農業(果樹) 2:観光 3:黒川能(民俗芸能・歴史文化)
4:コミュニティ・福祉・人づくり・まちづくり・子育て

《継続事業》従来の地域活性化事業

No.	新規・継続の別	事業区分	事業名	事業内容 (個人・団体等への補助金の場合はその旨明記すること)
16	継続	2.5	くしびき夏のイベント推進事業	『水焰の能』『くしびき夏まつり』の夏の二大イベントとして開催支援、農商工親による実行委員会を組織し、市共催のもと運営補助金の拠出と人的支援を行う
17	継続	4.5	黒川能保存伝承支援事業	保存伝承研修会(講演)開催支援や東小児童仕舞い指導等の担い手育成、体験用楽器の整備
18	継続	2.4	能楽青年交流事業(回数拡充)	学生、青年層の能楽合宿の誘致、地元住民、若手能役者との交流、農業体験、観能やボランティアなどで能の理解促進を図り、「能楽合宿地」という分野を確立
19	継続	5	くしびき若者未来創造事業	若者組織と希望者を集め、ワークショップ事業、先進地視察、成果発表会を通じて、まちづくりへの提言や新規イベントの開催を検討
20	継続	5	希少淡水魚保存事業	ハナヅメの種の保存活動(生息地の用地借上、ポンプ設置用地借上、地下水汲み上げポンプの電気料負担)
21	継続	5	花いっぱい運動	櫛引花と緑の会が実施するサルビアの植栽活動を推進する。

参考 《調整事業》年度末の成案まで検討

No.	新規・継続の別	事業区分	事業名	事業内容 (個人・団体等への補助金の場合はその旨明記すること)
—	新規	2.4.5	蠟燭能リスタート支援事業	伝統芸能のコラボや他イベントとのタイアップ、必要備品の購入など、イベントの再構築に支援をしていくもの
—	新規	5	くしびきわくわくパーク	地域に不足していると言われる子供たちが安全に遊べる場、休日に親子でふれ合える場として、遊具等を有する公園施設を整備


櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.1

担当課 産業建設課

<p>計画(事業)名 櫛引フルーツランド(仮称)構想</p>	<p>実施年度 H30～H34 櫛引地域振興計画での位置づけ イメージ図・写真等</p>	<p>事業種別 ハードソフト・事業補助 基本方針 (1)、(2)、(3)</p>  <p>産直「あぐり」周辺 道の駅構想(イメージ) フルーツランド(仮)・観光産直「あぐり」(民間既設) 情報発信機能(国既設) 果樹園</p> <p>観光拠点 × 果樹ブランド = 『道の駅』登録</p>  <p>エノスカ創文化都市のブランド 観光果樹園の振興 果樹の6次化・ブランド 東京大学F&E戦略プログラム(提案) 山形大学農学部(技術協力) Food coordinator (技術協力)</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>◎H30.1.30付 鶴岡市長宛て 鈴木正衛氏 他4名 『道の駅「くしびぎ」(仮称)設立について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産直「あぐり」と一体となった周辺地区の道の駅登録申請 ・大型駐車場、24時間トイレ、観光インフォメーション整備による観光PRと果樹園振興 ・産直「あぐり」～月山国道維持出張所までの一体的整備の検討 <p>◎産直あぐりの現状と課題</p> <p>会員の農産物販売を基本としながらも、加工主力商品であるプレミアムジュース関連商品の新商品開発や、海外も含めた販路拡大に取り組む。H29からくしびぎ観光協会の事務局を(株)産直あぐりに移管することに伴い、観光案内事業等と連動した販売戦略が求められる。</p>	<p>期待される効果・特記事項</p> <p>(1) 観光果樹園入込者数 (H27) 17,579人 ⇒ (H33) 20,000人 (2) 果樹生産 (H23) 293百万円 ⇒ (H33) 350百万円 (3) ふるさと返礼品 さくらんぼ (H27) 1,230C ⇒ (H33) 2,400C</p>	
<p>事業目的</p> <p>『フルーツ王国くしびぎ』の果樹をテーマとした生産の拡大、6次産業化、ブランド化を図り、また鶴岡市南部地区の広域観光の拠点機能とするため、産直「あぐり」周辺地区をフルーツランド(仮)として拡張整備し、地域活性化に資する</p>	<p>推進体制</p> <p>○検討体制 櫛引地域産業振興プロジェクト推進協議会 + 国・県・市(企画部隊)フルーツの里プロジェクト推進委員会 ○事業実施主体 (運営体制) 公設民営。民間事業者(同推進協議会(あぐり、果樹農家、観光農園者、観光協会)で検討)+JA庄内たがわ, 出羽商工会+行政(国, 県, 市)+アドバイザー(コンサル)</p>	
<p>事業内容</p> <p>フルーツの里ブランド化推進事業の一環として、従前より構想の声があった産直あぐり周辺一体でのフルーツランド、コマージュナル果樹園等の整備を「櫛引地域まちづくり未来事業」として推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体構想計画策定 ○地域活性化施設(フルーツランド、休憩施設併設) ○多機能トイレ改築 ○コマージュナル観光果樹園の整備 ○南部広域観光拠点整備(観光商品開発、2次交通運営システム確立等) 	<p>イメージ図・写真等</p>	


櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.2

担当課 産業建設課

<p>実施年度 H30～H33</p> <p>事業種別 ハード ソフト・事業補助</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ 基本方針(2)</p>	<p>イメージ図・写真等</p> 
<p>計画(事業)名 NATURE LAND(自然体験学校)構想</p> <p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>1 櫛代スキー場のナイター施設完備の特性を活かし、市内3スキー場の差別化を図り共存共栄を図る。</p> <p>2 自然体験学校の開催等グリーンシーズンズンのスキー場の有効利用</p> <p>3 櫛代スキー場、ほのか櫛代の機能を見直し、自然体験メニューを導入しながら、対象を家族、学校、団体向けに特化した通年自然体験施設として運用を見直す。</p>	<p>事業目的</p> <p>山形県と mont-bell の自然協定に参加し、『櫛代スキー場』、『ほのか櫛代』の通年型自然体験施設としての機能見直しと自然体験メニューを導入し、市民の満足度向上と交流人口拡大を図る。</p>
<p>事業内容</p> <p>① 櫛代スキー場の経営改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Green season …花畑、交流者農園、自然体験学校、農業セラピー、スカイライダー (空中滑り台)、大型ゴムプール ■ Snow season …ファミリー向け自然体験型スキー場 <p>1) 子供向けスキー・ウエアセットの格安レンタル完備 (親子が手ぶらで遊べるスキー場。将来的スキー人口拡大)</p> <p>2) SNOWPARK (雪上アトラクション) スネークコースター (1基)、2人乗りソリ (5台)、スノーバイク (5台)</p> <p>3) 送迎マイクロ…(株)フルーツランド2 次交通会社が運営するマイクロバスで市街地から中高生を週末無料送迎</p> <p>② ほのか櫛代の経営改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県と mont bell の自然協定傘下の「自然学校」としての運営 ・宿泊機能…週末関連日のみ経営 (対象:部活、サークル等の団体、自然学校の受講生) <p>(運営主体(案)) くしびきん (地域若者有志)、NPO 酒田元気王国、庄内ネイチェアゲーム協会、(株)ON-WIPPS 等への指定管理</p>	<p>期待される効果・特記事項</p> <p>(1) グリーンシーズンズンの利用者の増加</p> <p>(2) 多種多様のスキーアイテムが揃いファミリーからカップルまで、また、スキーやスノーボードをやらない(やめた)人達も楽しみ、利用者の増加が期待できる。</p> <p>推進体制</p> <p>○検討体制 産業建設課 + 国・県</p> <p>○事業実施主体 (運営体制)</p> <p>山形県 mont-bell 協定傘下で運営形態は公設民営型 (ex: 庄内ネイチェアゲームの会、NPO 酒田元気王国、(株)ON-WIPPS 等)</p>

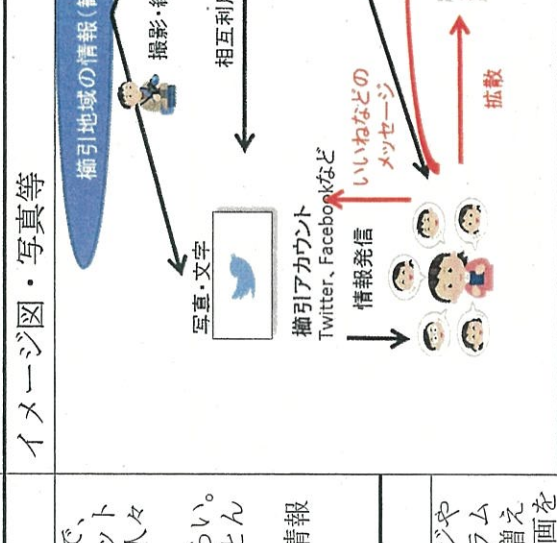
櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.3

担当課 産業建設課

<p>計画（事業）名 やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業 (赤川かわまちづくり計画)</p>	<p>実施年度 H31～H35 事業種別 ハード ソフト・事業補助 櫛引地域振興計画での位置づけ 基本方針(3)、(5)</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ 1. 子どもが、遊べる公園・環境が少ない。 2. 年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。 3. 桜開花時期、やすらぎ公園沿いにぼんぼり設置要望がある。 4. 桜の手入れ不足の声（テングス病駆除や大枝剪定） 5. 桜の開花時期に必ず馬渡川付近への行き方についての問い合わせがあるが、道路標識が無いため、説明に苦慮する。</p>	<p>イメージ図・写真等  地区の拠点整備 × 自慢の名所整備 = 地区住民の誇りと元気</p>
<p>事業目的 多くの地域資源が集積する「やすらぎ赤川河畔エリア」を一体的にとらえ適切な管理と活性化を施すことで、交流人口を増やしにぎわいを創出する。また、スポーツ公園付近に遊具の新設、ゆTownの大広間を子どもに開放する等して、年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。</p>	<p>期待される効果・特記事項 1. スポーツセンター付近を櫛引の拠点施設（いこいの広場）として整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。 2. 地元市民による管理では行き届かないテングス病駆除や大枝剪定を行うことで、桜づつみの適切な管理ができる。 3. 当該エリアの周遊を促すことで、櫛引総合運動公園、鶴岡市グラウンドゴルフ場、くしびき温泉ゆ〜Town、櫛引やすらぎ公園、馬渡川の桜づつみ施設の魅力の増進が図られ、リピーターを増加させ交流人口が増大する。</p>
<p>事業内容 やすらぎの赤川河畔エリアは住民いこいの場の拠点化 ① 辺施設との赤川周遊（右岸含む）が出来るレンタサイクルの配置。 (サイクルポート:スポーツセンター、産直めぐり)。 ② 辺エリアの全体案内看板を設置する。施設へのマップの配置。 ③ 渡川の桜づつみへのアクセスマップ案内看板設置 ④ 桜の時期 ぼんぼり設置 ⑤ 桜並木の適切な管理 国、地元、市の三者協定による計画的更新、テングス病駆除・大枝剪定 ⑥ 桜の時期にイベント:マラソン、ロードバイク、てくてくウォーキング(河畔1週)⇒同日開催/ONEDAY ⑦ ちびっこ広場に遊具設置 ⑧ 子供向け屋内遊具 (ゆ〜Townまたはスポーツセンターに設置) ⑨ ゆ〜Townの経営改革 (※現在、検討中) ※上記は H31-35「赤川かわまちづくり計画事業」で実行</p>	<p>推進体制 ○検討体制 レンタル自転車については、体育協会に委託する。(スマホでの支払システムも検討) ○事業実施主体 (運営体制) 『てくてくウォーク』: スポーツ課共催</p>

櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.4

担当課 産業建設課

<p>実施年度 H30～H34</p> <p>事業種別 ハートソフト・事業補助</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ 基本方針(3)、(5)</p>	<p>計画(事業)名 櫛引地域の情報発信(櫛引PR事業)</p>
<p>イメージ図・写真等</p> 	<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飛躍的に普及拡大しているインターネットは、発信できる情報量が豊富で、即時性や経済性、双方向性といった特徴を持っている。特にソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)は、即時性及び経済性に優れており幅広い人々に情報発信が可能となる。 ○ホームページやパンフレットは形式的であり、具体的な内容が伝わりづらい。 ○櫛引地域外の人々が櫛引地域のタイムリーな情報について知る機会がほとんどない。 ○KCTはあるものの櫛引・朝日地域のみでありそれ以外の地域に動画で情報発信はできていない。 <p>事業目的</p> <p>近年の情報発信の多様化により市民や観光客の情報入手方法はホームページやパンフレットのみだけでなく、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)を利用したものが増えている。SNSでは写真を中心とした文字での情報を、YOUTUBEでは動画を活用した情報が発信可能である。これらを利用し、SNS世代である若者を中心に櫛引の日常風景や観光情報を発信する。</p>
<p>期待される効果・特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動画や音声の配信により、視聴覚に直接訴えることができる ○情報の受け手が24時間いつでも好きなときに情報を入手できる ○能動的に情報を探らなくとも、当該アカウントをフォローしていれば、自動的に情報を入手することができる。 ○場所を限定せず世界中に発信が可能となる。 ○観光情報のみならず、地域の情報を発信することで櫛引出身者のUターンをきっかけにもなる。 ○小中学生向け学習講座の放送により、地域の子どもの学力向上を図る 	<p>事業内容</p> <p>櫛引地域の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本方針策定 ■SNS (facebook・twitter) の活用 ・櫛引地域アカウント作成(写真等配信) ・改まった観光情報だけでなく、櫛引地域の日常風景(Ex.農作物の成長日記、櫛引地域の名物人…)の発信 ・双方向コミュニケーションの確立(ダイレクトメッセージに対応) ■YOUTUBEの活用 ・櫛引チャンネルの作成 ・櫛引地域内外に向けた情報内容 ■動画撮影・編集者は固定せず、さまざまな世代目線で櫛引を紹介 ■KCTの更なる活用 ・櫛引/朝日地域向けの独自プログラムの展開 <p>例) 小中学生向け授業、英会話、出前講座的な番組 等</p>
<p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討体制 ○事業実施主体(運営体制) 鶴岡市、KCT 	

<p>計画(事業)名 鶴岡市南部地域広域観光拠点と交通基盤整備</p>	<p>実施年度 H30～H34</p> <p>事業種別 ハードソフト 事業補助</p> <p>鶴引地域振興計画での位置づけ 基本方針(1)、(3)</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>(背景)本市観光客数は微増傾向にあるが、加茂水族館(558,800人/H29)、羽黒山(632,300人/H29)の2強となっている。温泉地への宿泊客数も788,800人/年間と減少傾向にあり、広域型の滞在型観光の推進が必要。</p> <p>(課題)特に、鶴引地域においては、黒川能玉祇会館(2,575人/H29)、丸岡城跡公園(2,033人/H29)、果樹観光園(18,258人/H29)等の高質な観光資源を有するが、そのポテンシャルを生かし切れていない。また観光客の2次交通確保が常に課題となっているが、民間の「庄内交通網」では採算性のため運行していないため、鶴引、朝日等の南部地域での地域主体による2次交通運営が必須となっている。(住民ニーズ)</p> <p>広域交通幹線網では、県道「たらのき」だいい鶴岡線(外内島～我老林)及び農免道路「黒川2期」の施工により、東北横断自動車道の朝日IC、鶴岡ICへのアクセスが大幅に向上することで観光客の増大に期待している。(県への要望・調整事項)</p>	<p>イメージ図・写真等</p>  <p>(車)市南部地域の広域観光道路は県道と農免道路の2面所延伸で大幅改善 (移動)観光の2次交通確保は「地域主体の公共交通」が担う必要がある</p>
<p>事業目的</p> <p>鶴岡市の日本遺産である「生まれ変わりの旅」、「サムライゆかりのシルク」による羽黒山80万観光客への観光資源の付加価値として、羽黒山と湯殿山の中継地点にある鶴引地域の果樹と歴史遺産の観光資源を提供し、また、金峰山や朝日地区即身仏等の黄金地区、朝日地域との広域観光圏の形成を図ることで、市南部地域での滞在型の着地型観光を発信する。</p>	<p>期待される効果・特記事項</p> <p>(1) 王祇会館・春日神社来訪者数 (H29) 2,575人 ⇒ (H36) 26,575人 (2) 観光果樹園来訪者 (H29) 18,258人 ⇒ (H36) 27,387人 (3) 農家民宿所得額 (H29) 24,282千円 ⇒ (H36) 38,223千円</p> <p>鶴引地域経済効果</p>
<p>事業内容</p> <p>市南部地域の観光基盤強化のため、フルーツランドを拠点とした観光商品の開発提供と交通基盤の強化を図る。</p> <p>○フルーツランド(仮)に市南部広域観光拠点の機能拡張</p> <p>1)市南部広域連携の観光商品の開発と提供、エージェンメントへの売り込み(着地型観光)</p> <p>○地域主体の2次交通システム(空港・鶴岡駅～市南部観光拠点間の送迎)</p> <p>2)市スクーバルバス等を活用した観光客の2次交通輸送システムの開発(空港・鶴岡駅～交通ハブ(フルーツランド)～南部地区観光地)と運営会社の設立。(庄内交通では赤字路線ため手を出さない)</p> <p>○羽黒～鶴引～朝日を繋ぐ「広域観光幹線道路」の整備促進(県要望)</p> <p>3)県道「たらのき」だいい鶴岡線バイパスの延伸整備促進。(外内島～我老林バイパス、鶴羽橋～南回りタツチ L=1,300m (市負担金10%))</p> <p>4)農免道路(黒川2期地区)の整備促進。(松ヶ岡～黒川 L=960ha、C=291百万円(市負担金10%))</p>	<p>推進体制</p> <p>○検討体制</p> <p>1)交通輸送…庁内関係部課(観光物産課、鶴引産業建設課、朝日庁舎産業建設課)</p> <p>2)観光開発…プロジェクト会議(市関係課、出羽庄内地域開発デザイン、庄内交コーポレーション等)</p> <p>○事業実施主体(運営体制)</p> <p>民間会社(フルーツランド運営会社の観光部門が旅客運送業を取得)</p>

櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.6

担当課 産業建設課

<p>実施年度 H30～H34</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ</p>	<p>事業種別 ハード ソフト・事業補助</p> <p>基本方針 (3)、(4)</p>	<p>担当課 産業建設課</p>
<p>実施年度 H30～H34</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ</p>	<p>事業種別 ハード ソフト・事業補助</p> <p>基本方針 (3)、(4)</p>	<p>イメージ図・写真等</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>春日神社は黒川の鎮守であり、黒川能はその神事能として500年余、氏子によって守り伝えられてきているが少子高齢化が進展し、氏子の成り手も不足してきている。 ・807年に創建された春日神社には王祇祭のほかに、例大祭や新嘗祭などにおいて黒川能が上演される舞台を備えた神社であり、国内でも希少な歴史的な建造物であるが、広く知られていない。 ・天澤寺は加藤清正公が眠る菩提寺であるとともに、その一角には織物工芸家の遠藤虚頼の糸塚とともに綴れ織り工房の虚頼庵があるが、広く知られていない。 ・黒川能の王祇祭、例大祭など、天澤寺の清正公祭などの伝統文化が引き継がれているが、参加者、観覧者が限定的である。 ・伝統工法綴れ織りの活動が限定的であり、日本遺産に登録された鶴岡市のメリットが活きていない。 ・歴史的な建造物、伝統文化を活かした地域の活性化に結びついていない。</p>	<p>期待される効果・特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外、外国人観光客の増加 ・各祭事等への参加者、観覧者の増加 ・綴れ織り商品の販売額増加、販路の拡大、ブランド化 ・地域、地域経済の活性化 ・櫛引地域への移住、定住の促進 <p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討体制 櫛引庁舎、KCT、王祇会館、黒川能保存会、天澤寺、虚頼庵 ○事業実施主体 (運営体制) 推進協議会 (黒川能保存会、天澤寺、虚頼庵、観光協会) 行政 (国、県、市)、アドバイザー (コンサル)、デザイナー 	<p>事業目的</p> <p>櫛引地域には、春日神社、黒川能、天澤寺といった古くからの歴史的な建造物、文化が存在しており、それぞれ地域で伝統芸能、祭事として永く引き継がれている。 少子高齢化が進展している中で、それらの歴史を後世に伝え、また、新たなまちづくりの目玉事業を展開することにより、県内外・国内外からの新たな観光客・顧客の誘致と地域の活性化を図るもの。</p> <p>事業内容</p> <p>歴史的な建造物、文化について、新たな形での体験型観光、ブランド化を図るため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統的装束・能面 (黒川能・加藤家甲冑等) の貸し出し、写真撮影が行える場の提供 (王祇会館) ○プロジェクトマネジメント (Team Lab 製作) を用いた音・映像による黒川能の幻想的空間の展開、祈禱体験 (春日神社) ・王祇会館+春日神社のセット見学 (能舞台神社は国内2カ所の希少性) ○歴史的な人物を対象としたコスプレイベントの開催 ○デザイナー等とコラボした綴れ織りのブランド化 (京都西陣等) ・鶴岡三大織：松ヶ岡シルク、関川しな織、櫛引綴れ織り ○王祇祭、祈年祭、例大祭、新嘗祭、清正公祭等の参加体験 ○綴れ織りによる黒川能装束の製作 ○歴史と観光が融合した観光プログラムの提案

櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.7

担当課 産業建設課

<p>実施年度 H30～H34</p> <p>事業種別 ハードソフト・事業補助</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ 基本方針(2)</p>	<p>イメージ図・写真等</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>30年近くにわたる都市農村交流は、都市部に鶴岡ファンを多く輩出しており、今後も観光振興やグリーン・ツーリズムの推進、農産物の販路拡大など、多面的な活性化を一層図っていくために、よりステップアップした事業を実施していくことが必要である。</p>	<p>事業目的</p> <p>J A庄内たがわ青年部櫛引支部が昭和61年から取り組んできた横浜市立青木小学校との交流は、農業への理解促進をはじめ、櫛引南小学校との相互交流や地域農産物の販売、学校給食用「つや姫」販売などにつながってきた。また、修学旅行の受け入れは、民泊や農業体験、学校間交流など地域全体での取組みに発展している。J A青年部の取り組みを支援することにより、交流による活性化や都市部での本市理解者の獲得、地域農産物の販路拡大など多面的な活性化に資する。</p>
<p>期待される効果・特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域農産物のPRと市場動向把握 ・地域農産物の販路拡大 ・鶴岡ファンの獲得 ・地域農産物の収益力の向上と経営意識の向上 ・農業自然体験型都市農村交流による交流人口の拡大 	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流人口拡大の推進（首都圏の修学旅行や大学生の農業体験受入の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・視察研修 ・農家民宿グループ「黒川能の里の会」への研修支援 ・空き家を活用した交流学校ゲストハウスの整備 ○体験型観光農園の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・農家カフェ実践者による講演、視察研修、農家カフェの整備 ○農産物等販路拡大支援事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・稲作出前授業、あおさふれあいまつり参加 ・修学旅行受け入れ（ホームステイ、農業体験、学校間交流）
<p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体（運営体制） <ul style="list-style-type: none"> 農業体験受け入れ・・・修学旅行受入実行委員会 出前授業、産直交流・・・J A庄内たがわ青年部櫛引支部 	

橿引地域まちづくり未来計画 事業 No.8

担当課 総務企画課

<p>計画(事業)名 丸岡城跡環境整備事業</p>	<p>実施年度 H31～H32 橿引地域振興計画での位置づけ イメーシ図・写真等</p>	<p>事業種別 ハード ソフト・事業補助 基本方針(4)、(5)</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ ○丸岡城跡史跡公園は、史跡復元の面的整備を平成21年度末に完了し、続けて、平成28年度にはガイダンス施設として武家住宅旧日向家を復元整備して、以降、2,000人を超える観光客を迎えている。 ○マイクログラス等の来訪やイベント開催時には、市道が狭く進入できなかつたり、駐車台数が少なく利活用に支障をきたしていることから新たな駐車場整備を地元自治会や顕彰団体から強く求められている。 ○マイクログラス以上の大型車がガイダンス施設に進入できるよう市道の幅を要望されているが、事業費が高額になるため、駐車場整備で支障事項の解決を図るもの。</p>		
<p>事業目的 丸岡城跡史跡公園を会場としたイベント開催時には、市道が狭くマイクログラスが進入できなかつたり、現駐車場が狭いため来訪に支障をきたしている。新たに駐車場を整備し、マイクログラス等での来訪やイベント開催時の駐車容易にして、地域資源の更なる利活用を図りながら、観光振興、交流人口の拡大、地域の活性化に資するとともに、地元の顕彰活動を通じ地域コミュニティの充実を図る。</p>	<p>期待される効果・特記事項 歴史と文化で魅力あふれるまちづくり ○文化遺産を資源とする観光振興や交流人口の拡大は、将来とも高い効果が期待できるところであり、丸岡城跡史跡公園の観光客受入れにかかる環境整備を行うことで、早期の活性化と地域振興に結び付けることができる。 ○歴史と文化を維持することは、地域コミュニティの維持にもつながることであり、観光客の増加により、将来に向けた顕彰活動や地域振興の力とすることができる。</p>	
<p>事業内容 マイクログラス等での来訪やイベント開催時の駐車に支障をきたしていることから、史跡公園近辺に駐車場を整備するもの。 ○用地買収 [550㎡] ○実施設計 ○駐車場整備工事 [乗用車20台、マイクログラス2台]</p>	<p>推進体制 ○市直営 橿引庁舎総務企画課が所管し、管理・運営については業務委託する。</p>	

<p>実施年度</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ</p> <p>イメージ図・写真等</p>	<p>～</p>	<p>事業種別</p> <p>ハードソフト</p> <p>基本方針 (4)、(5)</p> <p>事業補助</p>
<p>計画(事業)名</p> <p>伝統芸能による地域活性化事業</p>	<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>◎櫛引地域には黒川能の他にも天狗舞獅子舞の伝統芸能が10地区に伝わっており、これだけ多くの地区で継承されているのは珍しい。しかし近年においては若者の担い手不足等により保存伝承活動に支障を来している。</p> <p>◎人口減少、近所付き合いの希薄化、青年組織の衰退、未婚晩婚化などにより、地域における若者同士、世代間の交流の機会が減っており、人材を育成する力が低下してきている。</p> <p>◎子どもたちの将来の定住やUターンを促すための郷土愛の醸成に、地域伝統芸能の役割が期待されている。</p>	<p>期待される効果・特記事項</p> <p>(1) 伝統芸能に対する意識や体制が見直され、保存伝承活動が活性化される。 (2) 若者同士や世代間の交流が図られることにより地域の人材育成が図られ、地域が活性化される。 (3) 地域の伝統や歴史に触れることで郷土愛が醸成され定住が促進される。</p>
<p>事業目的</p> <p>伝統芸能の振興によって人の交流を促し地域の活性化を図ると共に、郷土愛を醸成することで定住を促進する。</p>	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題調査、実態調査 ・歴史を学ぶ ・地域での交流 ・役者後継者の勧誘 	<p>課題調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題調査 ・ 情報交換、交流 ・ 発表会 (イベント) 開催 ・ 伝承活動への支援
<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存会同士の交流⇒課題認識、助け合い ・ 技術を学ぶ ・ 子ども会行事等での披露、話を聞く会の開催 ・ イベント (発表会) の開催 	<p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 検討体制 ○ 担当課と各地区の天狗舞獅子舞保存会 ○ 事業実施主体 (運営体制) ○ 初年度は行政 (担当課)、次年度以降は任意団体設立 	<p>地域活性化へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意識、体制の見直し ・ 人材育成 ・ 郷土愛の醸成 等々

櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.10

総務企画課

<p>計画(事業)名 伝統芸能アーカイブ事業</p>	<p>実施年度 H31～ 櫛引地域振興計画での位置づけ</p>	<p>事業種別 ハードソフト・事業補助 基本方針(4)</p>
<p>イメージ図・写真等</p>		
<p>背景・課題・住民ニーズ 黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年もの間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で、座加入の戸数および能役者が年々減少傾向にある。 また、黒川能の囃子方は譜面だけでなく口承による指導、稽古で、一子相伝に近い特有の伝承方法であることから、途絶えかけた演目もあるといわれ、正確に継承していくのが難しい。 独特の謡や舞、所作、囃子が特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化により、人材の確保および充分な稽古の時間を確保するのも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。 黒川能だけでなく、各地区に伝わる伝統芸能も同様の課題を抱えている。</p>		
<p>事業目的 黒川能は、独特の謡や舞、所作、囃子が特徴であり、人口減少、生活環境の多様化等により、正確に継承していくのが難しい。 これまで上演された演目や演奏が収録されているものがあるが、VHSやカセットテープ等媒体が古く再生機器もなく、活用されていない。 既存映像のデジタル化、加えて囃子方等の演奏を撮影収録し、デジタル音源として記録保存することで、日々の稽古や演能に活用し、伝統芸能の継承を図る。</p>	<p>期待される効果・特記事項 これまでのVHS映像をデジタル化することで記録の消失を防ぎ、平成25～26年度に整備した能面と装束の写真図譜データベースとともに、将来的な保存伝承活動に寄与する。 また、記録したDVDの貸出を行い、稽古や伝統芸能の学習に活用する。</p>	
<p>推進体制</p>		
<p>事業内容 ○黒川能のVHS映像、謡等のカセットテープ音源をデジタル化(DVD化、CD化)し、稽古用、観賞用として整備し、活用できる体制を構築する。 (VHS100本、カセットテープ80本) ○既存の記録に加え、新たに舞、狂言、謡、囃子方の鼓、笛および太鼓の演奏を撮影収録し、デジタル音源として記録保存する。 (1回3曲×10回収録(上座・下座各5回)×3か年=90曲)</p>	<p>○検討体制 櫛引庁舎総務企画課、黒川能保存会、上座下座、KCT ○実施主体 作業は外部委託</p>	

櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No. 1 1

担当課 総務企画課

<p>計画（事業）名 櫛引地域デマンドバス運行事業</p>	<p>実施年度 H30～H32 櫛引地域振興計画での位置づけ イメージ図・写真等</p>	<p>事業種別 ハードソフト・事業補助 基本方針(5)</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ 公共交通バスの利用が低迷し路線バスが廃止されてきたことに伴い、高齢者等交通弱者の移動手段の確保が課題となっている。</p>		
<p>事業目的 現在導入しているスクールバスへの住民混乗利用も減少していることから、これに代わる住民ニーズに沿った新たな地域公共交通システムの整備を図る。</p>	<p>期待される効果・特記事項 地域内の交通空白地帯が解消され、住民の利用しやすい交通環境が整う。</p>	
<p>事業内容 1. 地域内の公共交通に関し潜在需要の掘起しと共に利用者ニーズを把握する。 2. 新たな地域公共交通システムの具体的手法を検討する。 《例えば》 ○郊外型のデマンドバス運行 バス利用者を前日まで把握し、当日は利用者の玄関からエスモールの市内循環バスの停留所まで運び、そこから病院や市役所、スーパーなどの目的地までは循環バスを活用し、帰りはエスモールから玄関までデマンドが運ぶといった形態 3. 実験的取組みとその後新システムの本格稼働 4. 新システムの周知と積極的利用の呼びかけ</p>	<p>推進体制 ○検討体制 デマンドバス等新交通システムの調査業務を委託し有識者の意見を参考にし、懇談会等で住民の意見を聞きながら新システムを検討する。 ○事業実施主体（運営体制） 市が入札により旅客運送事業者に委託する。</p>	

鶴引地域まちづくり未来計画 事業 No.1 2

担当課 総務企画課

<p>計画(事業)名 地域独自の交通安全啓発</p>	<p>実施年度 H30～ 鶴引地域振興計画での位置づけ イメージ図・写真等</p>	<p>事業種別 ハード ソフト・事業補助 基本方針(5)</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ 鶴引町時代からの地域独自の交通安全啓発活動である、交通安全の日(毎月一日)に旗を立てる取り組みは、鶴引地域の交通安全運動の推進のため、今後も継続していくことが望まれる。 しかし配布から20年ほど経過した現在、各地区からは旗の老朽化や紛失の声も多数寄せられている。また現在使用されている旗は合併以前に作られているために「鶴引町」の記載があるほか、配布後に地域に住み始めた家庭には配布されていない、地区によって取り組み姿勢に差があるなどの課題がある。 今後も取り組みを継続していくためには、新たに旗を作成・配布し、活動の継続を促すなど、市でも支援を行う必要がある。</p>		
<p>事業目的 鶴引町時代からの地域独自の交通安全啓発活動である、交通安全の日(毎月一日)に旗を立てる取り組みの推進のため、新たに旗を作成・配布する。</p>		<p>期待される効果・特記事項 ・地域住民の交通安全への意識の高まり⇒鶴引地域での交通事故の減少</p>
<p>事業内容 ・鶴引地域では、合併前から、独自の交通安全啓発活動である、県が定めた交通安全の日(毎月一日)に家の前に旗を立てる取り組みを行っている。 ・旗は配布してから相当年数が経過しており、住民からは旗の老朽化や紛失の声も寄せられているほか、在庫もなく、転入してきた住民には配ることができない状況である。 ・そこで、新たな「交通安全の日」の旗を作成し、鶴引地域に全戸配布(地区へとりまとめを依頼)し、独自の交通安全啓発活動の継続を図る。 ・次年度以降は、補充・交換分を庁舎に保管し、問い合わせに対応する。</p>	<p>推進体制 ○事業実施主体(運営体制) 鶴岡市</p>	

<p>計画(事業)名 地域コミュニティ活性化事業</p>	<p>実施年度 H31～H32</p> <p>事業種別 ハードソフト・事業補助</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ 基本方針(5)</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>地域コミュニティは市民、行政の双方にとって重要な機能を果たしており、今後、持続可能な地域社会を構築するうえですます重要な機能を担うことが予想される。しかし一方で人口減少、高齢化、価値観の多様化や帰属意識の低下などにより、全国的に弱体傾向にあると言われており、本市においても例外ではない。</p> <p>櫛引地域では従来より小学校区単位の地区公民館が設置されていないため、地域コミュニティは単位自治組織を中心として活動が行われており、これまで地域の実態を踏まえながら組織の活性化に向けた統廃合が行われてきた経過がある。</p> <p>現在は21の単位自治組織があり、平均して80～90戸の規模だが、役員体制や人的能力が追い付かず業務ニーズに応えきれない状況にあり、今後この傾向は強まると予想される。</p> <p>人口減少、少子高齢化、生活様式の変化等により地域運営の担い手が不足している中で、こうした問題を解決できる地域運営の仕組みづくりが求められる。</p> <p>事業目的</p> <p>櫛引地域にあつては単位集落数が21と集約されてきたことから、これまで各集落と行政が直結する形で地域運営が行われてきました。しかし、急激に人口が減少していく見通しの中でコミュニティ機能の低下に備えた準備が求められています。単位自治組織の機能補完や、単独では取り組むことが難しい福祉や防災課題の解決、また担い手の育成や活性化策について実態を捉えうえで行政として支援していきます。</p>	<p>イメーシ図・写真等</p> <p>本市におけるコミュニティ施策の体系</p>
<p>事業内容</p> <p>通年で集落支援員1名を配置し、以下の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域コミュニティ実態調査の実施 ②ワークショップ・研修会の開催 ③櫛引地域のコミュニティ維持・活性化のための計画策定 ④地域ビジョン策定に向けた自治会への支援 	<p>期待される効果・特記事項</p> <p>福祉や防災関連など、今の自治会単位では体制がとりづら分野について連携した取り組みを模索することで、対応が可能になる。広域コミュニティについても継続した検討が必要である。</p> <p>市民と行政が協働で取り組みることによって、担い手の人材育成や掘り起しについて効果が期待される。</p> <p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討体制 庁舎職員、集落活動支援員 ○事業実施主体(運営体制) 市直接業務

橿引地域まちづくり未来計画 事業 No.1 4


総務企画課




担当課

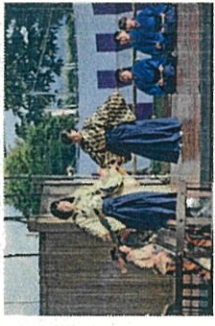
<p>計画（事業）名 「空にかける階段」information booth 整備事業</p>	<p>実施年度 H31～H33 橿引地域振興計画での位置づけ</p>	<p>事業種別 ハードソフト・事業補助 基本方針（5）</p>
<p>イメージ図・写真等</p>		
<p>背景・課題・住民ニーズ (背景) 橿引地域出身の世界的石像彫刻家「富樫実氏(名誉市民)」の「空にかける階段シリーズ」は、橿引地域の富樫ロード(仮称)や橿引庁舎を始め、市内では庄内空港、山形自動車道鶴岡IC、美咲町開発地、開運橋、千歳橋があり、国内外に多数設置されており、その芸術的評価は東京都市文化功労賞、紺綬褒章等を受賞するなど権威の高いものである。現在、氏の木製試作品(ミニチュア)は、橿引庁舎に数多く展示され、公共施設や民間企業に貸し出しを行い、気候に目にし触れられる展示を行っている。 (課題) 氏の作品については橿引地域の各所に展示されていないという課題がある。 思想等の紹介が薄く地域住民より認知されていないという課題がある。 (住民ニーズ) 橿引観光協会をはじめ地域の富樫支援者では、氏の功績を広く知らしめ後世に伝え、また橿引地域の芸術的シンボルとして「空にかける階段」を位置づけ、黒川能、丸岡城跡の観光資源に繋げたいという考えが以前よりある。</p>		<p>期待される効果・特記事項 ①芸術のあるまちづくりの推進 富樫氏の「空にかける階段」作品は世界的芸術作品であり国内外にファンは多い。拠点整備により橿引をゲートウェイとした芸術とまちづくりをマツチングし市内を回遊できる仕組みづくりにより地域活性化に資する ②地元子供の芸術性感性の醸成 郷土出身の芸術家の偉業を広く周知し学習事業を実施することで、地元児童・生徒子供の芸術的感性を高め情操教育の向上を図る ③こしやってマルシェ芸術学校による地域活性化 橿引地域の目玉事業である「こしやってマルシェ」のクラフト作家に工房提供することで、観光客の増大や子ども芸術学校により地域活性化を資する</p>
<p>事業目的 世界的石造彫刻家である富樫実氏(名誉市民)の「空にかける階段」作品を紹介するブースを拠点として整備し、市内各所に点在する氏の作品を回遊できる仕組みのゲートウェイ機能として多くの内外者からの来訪を誘引し、また橿引地域の目玉事業である「こしやってマルシェ」工房を兼ね子ども芸術学校を実施することで橿引地域のまちづくり、景観形成に資する</p>	<p>推進体制 ○事業実施主体(公設公営(一部民間委託))(運営主体) 鶴岡市、一部委託プロボラー(飲食許可による民間事業者募集) (想定) 橿引観光協会、こしやってマルシェ、地域内福祉団体、地元住民会婦人会等(設置主体) 鶴岡市(公設公営)</p>	<p>事業内容 (事業内容) 富樫氏の作品を紹介するブースの整備。橿引地域の既存施設内に改修整備し、ここを拠点を橿引地域、市内にある作品群を觀賞、回遊できる仕組みをつくり、さらに芸術のあるまちづくりとして景観形成に繋げていくものです。 (施設名称) 「空にかける階段ゲートウェイ」(総合博物館施設) (設置場所) 橿引生涯学習センター又は橿引スポーツセンター(柏戸記念館)内の室内改修施設(コンセプト)氏の作品に囲まれ、氏が愛する音楽、飲み物(ワイン等)を楽しむながら鑑賞、集えるサロン (展示内容) 単なる作品展示に止まらず、氏のシリーズ作品の根底にある仏教思想の輪廻の作品思想や氏の人物像、系譜、触れて楽しめる作品展示等の総合展示施設として質の高い展示サロンとする ・木製試作品、書、仏像、作品デジタルコンテンツ、愛好ワイン等 ・こしやってマルシェクラフト工房(子供芸術学校(東北芸術工科大学連携)) (運営方法) ・平日: 無人(防犯カメラ設置) ・休祭日: 運営組織常勤(民間事業者)</p>

櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No. 1 5

担当課 市民福祉課

<p>実施年度 H31 ～</p> <p>事業種別 ハードソフト・事業補助</p> <p>櫛引地域振興計画での位置づけ 基本方針 (5)</p>	<p>イメーシ図・写真等</p>	<p>計画 (事業) 名 櫛引地域いきいき健康活動拠点運営事業</p>
<p>運動・体操 (60分) と任意の活動 (30分) (介護予防の取り組み)</p> <p>+</p> <p>創作活動・レクレーション・芸術・研修等を取り入れた閉じこもり等予防 (こころの健康増進・いきがいがづくりの取り組み)</p> <p>↓</p> <p>高齢者の総合的な健康維持と生きがいがづくりに つながる活動拠点の運営</p>	<p>団体が実施</p> <p>地区が実施</p> 	<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>櫛引地域いきいき健康クラブ運営事業は、地区公民館等の施設を使用しながら、概ね65歳以上の高齢者を対象に、語らいや交流、運動や健康づくりなどを通じて、閉じこもりや認知症などの予防と要介護認定を受けにくい生活に結びつけることを目的として、櫛引地域の多くの地区で長年実施され定着している介護予防事業であったが、介護保険法の改正に伴い本事業が平成29年度をもって終了し、平成30年度以降の介護予防事業は長寿介護課が所管する「地域介護予防活動支援事業」に移行されたこととなった。移行後の介護予防事業については、運動・体操を取り入れた上で年間を通じて定期的に継続して開催する必要があることから、新しい介護予防事業に移行しない地区が多く、こうした地区では、高齢者同士の交流や語らいなどの機会を失うこととなった。また、移行した地区においても、取り組み内容が運動・体操に固定化して多様な活動がとりにくいことから次年度以降の取り組みを再考したいとの声が出ている。こうした現状を踏まえ、高齢者ができるだけ要介護認定を受けにくく、いきいきとした生活を送るための取り組みとして、現行の介護予防事業をベースとして、介護予防とあわせて閉じこもりや認知症などの予防につながる事業の取組が求められている。</p>
<p>期待される効果・特記事項</p> <p>○ 長寿介護課が所管する「地域介護予防活動支援事業」との連携により、高齢者の介護予防活動の推進のみならず、地区在住の高齢者の閉じこもりや認知症予防、あるいは会員同士の交流や各種研修を通じて、高齢者の生きがいがづくりと心身の総合的な健康維持に資することが期待される。</p> <p>○ 実施にあたっては従来事業と同様に委託契約を締結するものとし、「地域介護予防活動支援事業」に継続して取り組む地区及び新たに取組み地区の増加に期待できる。</p> <p>・事業参加者数 5人～9人まで 20,000円</p> <p>・事業参加者数 10人以上 40,000円</p>	<p>推進体制</p> <p>○ 検討体制 鶴岡市櫛引庁舎市民福祉課</p> <p>○ 事業実施主体 (運営体制)</p> <p>「地域介護予防活動支援事業」に取り組んでいる団体の属する地区</p>	<p>事業目的</p> <p>櫛引地域で平成6年度から継続実施されて来た介護予防事業 (いきいき健康クラブ運営事業) の終了に伴い、衰退傾向にある高齢者の健康維持及び生きがいがづくりとしての拠点整備を再構築することで地域活性化に資する。</p>
<p>事業内容</p> <p>長寿介護課所管の「地域介護予防活動支援事業」に取り組んでいる団体の属する地区に対し、介護予防の活動日や地区の行事等に併せて地区住民の語らいや交流活動 (ものづくり) 活動、文化活動を行うことにより、各地区における高齢者の総合的な健康維持と生きがいがづくりに向けた活動の拠点づくりを推進する。「地域介護予防活動支援事業」の実施にあたっては、各団体の実施に当たっては、多くの地区住民が集う機会を捉え、会員・非会員を問わず地区在住の高齢者が、健康維持と生きがいがづくりにつながる活動に取り組んで頂くことを念頭に地区と委託契約を締結するものとする。委託料の経費の対象としては、従来取り組んできた「いきいき健康クラブ運営事業」への参加者数と同様に委託契約を締結するものとする。</p> <p>○ 実施にあたっては従来事業と同様に委託契約を締結するものとし、「地域介護予防活動支援事業」への参加者数 5人～9人まで 20,000円</p> <p>・事業参加者数 10人以上 40,000円</p>	<p>事業内容</p> <p>長寿介護課所管の「地域介護予防活動支援事業」に取り組んでいる団体の属する地区に対し、介護予防の活動日や地区の行事等に併せて地区住民の語らいや交流活動 (ものづくり) 活動、文化活動を行うことにより、各地区における高齢者の総合的な健康維持と生きがいがづくりに向けた活動の拠点づくりを推進する。「地域介護予防活動支援事業」の実施にあたっては、各団体の実施に当たっては、多くの地区住民が集う機会を捉え、会員・非会員を問わず地区在住の高齢者が、健康維持と生きがいがづくりにつながる活動に取り組んで頂くことを念頭に地区と委託契約を締結するものとする。委託料の経費の対象としては、従来取り組んできた「いきいき健康クラブ運営事業」への参加者数と同様に委託契約を締結するものとする。</p> <p>○ 実施にあたっては従来事業と同様に委託契約を締結するものとし、「地域介護予防活動支援事業」への参加者数 5人～9人まで 20,000円</p> <p>・事業参加者数 10人以上 40,000円</p>	<p>事業内容</p> <p>長寿介護課所管の「地域介護予防活動支援事業」に取り組んでいる団体の属する地区に対し、介護予防の活動日や地区の行事等に併せて地区住民の語らいや交流活動 (ものづくり) 活動、文化活動を行うことにより、各地区における高齢者の総合的な健康維持と生きがいがづくりに向けた活動の拠点づくりを推進する。「地域介護予防活動支援事業」の実施にあたっては、各団体の実施に当たっては、多くの地区住民が集う機会を捉え、会員・非会員を問わず地区在住の高齢者が、健康維持と生きがいがづくりにつながる活動に取り組んで頂くことを念頭に地区と委託契約を締結するものとする。委託料の経費の対象としては、従来取り組んできた「いきいき健康クラブ運営事業」への参加者数と同様に委託契約を締結するものとする。</p> <p>○ 実施にあたっては従来事業と同様に委託契約を締結するものとし、「地域介護予防活動支援事業」への参加者数 5人～9人まで 20,000円</p> <p>・事業参加者数 10人以上 40,000円</p>

<p>計画(事業)名 くしびき夏のイベント推進事業</p>	<p>実施年度 H30～H34 榊引地域振興計画での位置づけ イメージ図・写真等</p>	<p>事業種別 ハード ソフト 基本方針(2)、(5)</p>	<p>事業補助</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ 少子高齢化の進行や人口減少、就業構造の変化に伴い、地域の連帯感の希薄化が懸念されていることから、地域住民や関係団体が連携協力して賑わいを創出し、地域の活力を維持して行く取り組みが求められている。 黒川能野外能楽「水焔の能」は、旧榊引町誕生30周年の記念事業の一環で開催したイベントで回数を重ねて榊引地域における夏の風物詩として定着しているが、鑑賞者の減少やイベントの運営体制づくりなどが課題となっている。</p>	<p>くしびき夏まつり</p>  <p>伝統芸能の発表部門</p>  <p>ステージ部門</p>  <p>賑わい交流部門</p>  <p>水焔の能</p>	<p>期待される効果・特記事項 黒川能 能二番と狂言一番、東小児童の舞雛子</p>	<p>推進体制 ○事業実施主体(運営体制) くしびき夏まつり実行委員会 (JA 庄内たがわ榊引支所、出羽商工会榊引支所、榊引観光協会、榊引庁舎産業建設課)</p>
<p>事業目的 榊引地域における夏のイベントとして黒川能野外能楽「水焔の能」、農工商が連携した「くしびき夏まつり」など、地域の特性を生かしながら、地域の魅力を高めるとともに、交流人口の拡大による人・もの・情報の交流をなす一層推進し、地域の活性化と一体感の醸成を図る。</p>	<p>事業内容 7月最終土曜日に開催している「野外能楽 水焔の能」と連日日程となる「くしびき夏まつり」を夏の二大イベントとして開催する。「くしびき夏まつり」については開始から7年が経過し、榊引地区最大の夏のイベントに定着してきており、今後も継続して開催していくことを実行委員会において確認している。平成30年度は、これまでの経験やアイデアを結集して、若男女が楽しく集い、さらに賑わいを創出するための事業となるよう支援を行う。開催にあたっては商工団体、農業団体、観光団体等による実行委員会を組織し、市が共催する形で運営補助金の拠出と人的支援を行う。 ○商業者等による展示販売、農業団体・産直組織による特産物や姉妹都市の特産品の紹介販売 ○子ども向けコーナーの設置(バルーンアート、バッテリーカー、緑日コーナー) ○ステージアトラクションの実施(伝統芸能の発表、歌謡ショー)</p>		

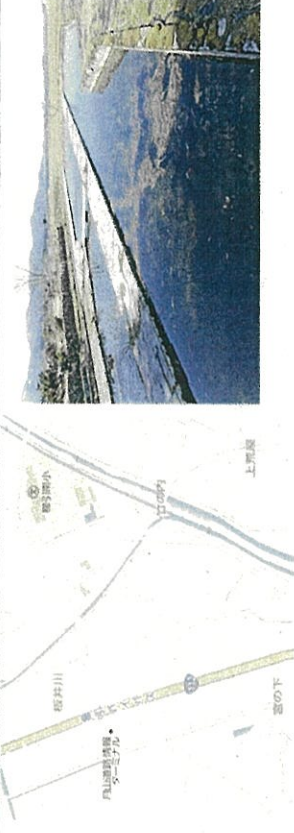
<p>実施年度 H30～</p> <p>事業種別 ハード ソフト</p> <p>事業補助 ○事業補助</p> <p>榊引地域振興計画での位置づけ 基本方針 (4)、(5)</p>	<p>イメーシ図・写真等</p> <div data-bbox="311 302 646 907"> <p>【保存伝承の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・能役者の高齢化・生活環境・価値観の変化 等々 <p>【継承の仕組みづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的交流・理解促進・後継者育成・事業の円滑な運営 等々 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○研究会の実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○後継者育成事業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○黒川能保存会 運営補助</div> </div>  </div>
<p>計画 (事業) 名 黒川能保存伝承支援事業</p>	<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年の間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で座加入の戸数および能役者、囃子方が年々減少傾向にある。また、独特の謡や舞、所作、囃子、着付けが特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化、価値観の多様化、能役者の高齢化等により、人材の確保および十分な稽古の時間を確保するのにも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。そのため、若い世代に伝統芸能に誇りを持ってもらう活動とともに、文化資源を後世に継承していく仕組みづくりと、旅行者など黒川能の理解者の掘り起こしが必要となる。</p> <p>事業目的</p> <p>黒川能は、500有余年の間、住民により連綿と受け継がれてきたが、近年の少子高齢化、生活環境や価値観の多様化により、人材の確保等が難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。後継者育成、黒川能への理解促進等に関する活動、及び各種事業の円滑な運営を支援すること、保存伝承に寄与する。</p> <p>事業内容</p> <p>公益財団法人黒川能保存会が行う下記事業に対し補助を行い支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○黒川能保存伝習研究会 黒川能に造詣の深い識見者の講演会や、行食事アレンジレシピの検討、活用等。 ○後継者育成事業 現役能役者による演能および囃子方の指導と水焔の能等発表機会の創出。 ○王祇会館体験用能楽器整備事業 (平成30年度) 入館者の体験用能楽器 (能管、鼓、締め太鼓) の整備。 ○黒川能保存会運営補助 黒川能保存会の運営事務全般の補助
<p>期待される効果・特記事項</p>	<p>保存伝承研究会の開催により、能をおとした人的交流が広がり、地域の活性化が図られるとともに、黒川能の文化的価値の理解が深められ、保存伝承の機運の醸成が図られる。</p> <p>子どもたちは、仕舞練習や発表体験をおしながら、故郷の伝統芸能に対する愛着と誇りが育まれ、次世代の能継承者の座加入促進が期待できる。子どもたちが伝統芸能に参加することで、地域コミュニティの求心力も高まり、保護者たちは演能支援をおして、着付け等の技術や郷土食への関心も深まり、伝承能継承への積極的な関わりが期待される。</p> <p>王祇会館に体験用の能楽器を整備し、演奏体験することが期待される。また、伝承能の保存伝承および観光の拠点施設である王祇会館の組織運営を支援すること、業務体制が整えられ、各種事業の円滑な運営により保存伝承、普及振興に寄与する。</p>
<p>推進体制</p>	<p>○事業実施主体 (運営体制)</p> <p>公益財団法人黒川能保存会</p>

<p>実施年度 H30～</p>	<p>事業種別 ハード ソフト 事業補助</p>	<p>櫛引地域振興計画での位置づけ 基本方針(2)、(4)</p>
<p>計画(事業)名 能楽青年交流事業(通年版)</p>	<p>イメージ図・写真等</p>	<p>大学能楽サークル等の台宿 誘致・受入</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ 現在、首都圏の大学の能楽サークルを対象に、能楽青年交流事業により、能楽合宿、地元若手能役者との交流を行っているが、その時限りの関わりとなりつつある。せつかく黒川に来てもらっても、短期間のため、黒川能と農業、地元住民の関わり、食文化等について、理解や体験があまり出来ずに終了してしまっている。能楽合宿に参加したことをきっかけにリピーターとなってもらい、黒川能への理解促進、農業や食文化等の体験をおし、長期的な交流へと発展させたい。</p>		<p>事業目的 現在取り組んでいる能楽青年交流事業は、首都圏の大学生を対象に、夏季休暇を利用した能楽合宿を行っているが、その時限りの交流になっているため、この事業を通年に拡大し、1年を通じた能と農、住民生活の関わりを学んでもらい、能の理解促進、交流の継続につなげる。 また、黒川能伝習館、王祇会館、農家民宿の利用促進、観光振興を図り、「能楽合宿地」という分野を確立する。</p>
<p>期待される効果・特記事項</p>	<p>黒川能伝習館 黒川の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な交流および交流人口の増加 ・王祇会館、黒川能伝習館、農家民宿等の利用促進 ・行事食や郷土料理等の食文化の発信 ・農業体験による農業理解
<p>事業内容</p>	<p>推進体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体(運営体制) 黒川能保存会

<p>実施年度 H30～</p> <p>事業種別 ハードソフト・事業補助</p> <p>鶴引地域振興計画での位置づけ 基本方針(5)</p>	<p>イメージ図・写真等</p>
<p>計画(事業)名 くしびき若者未来創造事業</p>	<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <p>市町村合併から12年を経過したが、旧町村の住民からは予算が中央に集中して、周辺地域については活力が失われ、元気が無くなっているとの声も聞かれている。</p> <p>それぞれの地域が活性化して、住民が活力の満ちた豊かな生活が送れることが、本市全体の発展につながるから「地域まちづくり未来基金」が創設されることになった。</p> <p>地域の特性を生かして策定されるこの実施計画には、将来を展望するという観点からも、地域の若者たちの意見をなるべく多く集約する必要がある。</p> <p>事業目的</p> <p>協働のまちづくり、地域の未来創造には、若者の英知と独創的アイデア、そして行動するエネルギーが不可欠であることから、鶴引地域にある若者組織と希望者を集め、ワークショップと交流を通じて、その成果をまちづくり未来事業計画の策定に反映させることを目的とする。</p> <p>事業内容</p> <p>まちづくり未来事業実施計画の策定に向けた取り組みの一環として、若者によるワークショップ事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参加想定 <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡まちづくり塾鶴引グループ…こしやちやちやマルシェなど、H21 結成 ・青年サークルくしびきん!…クリスマスマスマス会や雪まつりなど、H14 結成 ・高校生ボランティアサークルNO-SIDE <ul style="list-style-type: none"> …環境美化、福祉ボランティアなど、S55 結成 ○予定事業 <ul style="list-style-type: none"> ・一般公募 ・ワークショップ(体験型講座)2回 <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察1回 ・成果発表交流会1回 ・グループ討論
<p>期待される効果・特記事項</p>	<p>まちづくり未来事業計画策定にあたり、多くの若者の意見を取り入れ、反映させることができる。</p> <p>また、事業をとおして将来のまちづくりを担う人材の育成や、それぞれの組織が横断的に交流することにより、計画されたまちづくり事業への参画など地域貢献に資する融合グループの組織化も期待する。</p> <p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討体制 <ul style="list-style-type: none"> 鶴岡市鶴引庁舎 ○事業実施主体(運営体制) <ul style="list-style-type: none"> 鶴岡市鶴引庁舎(組織化後は団体助成に移行)

櫛引地域まちづくり未来計画 事業 No.20

担当課 総務企画課

<p>計画（事業）名 希少淡水魚保存事業</p>	<p>実施年度 H31 ～ H33 櫛引地域振興計画での位置づけ</p>	<p>事業種別 ハードソフト・事業補助 基本方針（5）</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ 希少淡水魚イバラトミヨの保存は、櫛引町時代の平成6年から継続しているものである。 当該イバラトミヨの生息池がある板井川地区では、平成20年に地元有志により「イバラトミヨを守る会」が設立され、地域ぐるみで希少淡水魚の保全に取り組んでいる。 また、山形県では、レッドリストを改定し、当該イバラトミヨは準絶滅危惧種から絶滅危惧IB類に変更されている。 以上のことから、希少種イバラトミヨの保全を継続する必要がある。</p>	<p>イメージ図・写真等</p> 	
<p>事業目的 絶滅危惧種である希少淡水魚（イバラトミヨ）の種の保存を図るとともに、地元組織による管理を通じ生態系保全や自然環境保護の意識高揚、地域コミュニティの醸成を図る。</p>	<p>期待される効果・特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源である希少淡水魚を後世に残し、生態系の保全が図られる。 ・「イバラトミヨを守る会」など地域ぐるみの活動により、地域コミュニティの醸成が図られる。 ・地域住民の生態系保全や自然環境保護の意識を高揚することで、地域の環境美化と住みよいまちづくりが図られる。 ・市民憲章で唱える「自然を尊び、環境をととのえ、美しいまちにしよう」の具体的で積極的な推進が図られる。 	
<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イバラトミヨ生息池借上 ・ポンプ設置用地借上 ・地下水汲み上げポンプの電気料負担 ・地元等と連携した環境学習会の開催 	<p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討体制 鶴岡市、板井川地区イバラトミヨを守る会 ○事業実施主体（運営体制） 市が生息地及びポンプ設置用地の借上料とポンプ電気料を負担。 板井川地区イバラトミヨを守る会が施設の維持管理を行う。 	

<p>実施年度 H30～</p> <p>榊引地域振興計画での位置づけ</p>	<p>事業種別</p> <p>ハード ソフト</p> <p>基本方針 (5)</p>	<p>イメージ図・写真等</p>	<p>花いっぱい運動</p> <p>昭和53年から38年間住民参加型で継続 ・地域全体で大切に育ててきた価値のある運動である ・高齢化などで継続が難しくなっている地区もある</p> <p>【継続事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道112号線サルビア植栽事業 ・榊引地域花いっぱいコンクール ・新たな品種の試験栽培(H29～) <p>【新たな取り組みの検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花づくり講習会の開催 ・花引ポーターの募集 ・灌水チューブの購入助成 など <p>花いっぱい運動の継続により明るく住みやすい地域へ</p>	<p>期待される効果・特記事項</p> <p>(1) 個人賛助会員 (H30) 40人 ⇒ (H33) 60人</p> <p>(2) 苗配布本数 (H30) 22,350本 ⇒ (H33) 25,000本</p>	<p>推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討体制 榊引花と緑の会 ○事業実施主体 (運営体制) 榊引花と緑の会
<p>背景・課題・住民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榊引町の主導により始まった運動であり経費は全て町の予算から支出していたが、新市になり団体への補助金に切り替わったため地区負担金や賛助会費も収入に充てながら活動している。 ・国道112号線、通称「サルビアロード」は、歩道植樹帯の設置によって交通事故を低減させる役割を果たすとともに、通行者に心のやすらぎを与えている。 ・この運動はこれまで多くの住民の努力や国土交通省からの支援、事業所等の協力により支えられてきたものであり、地域全体で大切に育ててきた非常に価値のある運動である。今後も継続していくためには行政の支援が必要不可欠である。 ・課題として、高齢化の進展やコミュニティ意識の希薄化などにより、ボランティアに頼る植栽や肥培管理が難しい状況になっている。また、国道植栽にボランティア協力をいただいてきた鶴岡南高校山添校が平成33年度をもって閉校されることにより、作業協力者の大幅な減少が懸念される。 ・花いっぱい運動を拡大していくために、地区の管理作業の省力化を図りながら、賛助会員やボランティア等の運動を支える人を増やしていく必要がある。 <p>事業目的</p> <p>榊引地域で地域住民参加型で継続されてきた、町の花サルビアの植栽による「花いっぱい運動」を、地域の特色あるまちづくりとしてさらに推進を図り、幅広い年代が参加するコミュニティ活動として位置づけながら、住民が花に親しみを感じながら、やすらぎと住みやすさを実感できる環境づくりを目指す。</p>	<p>事業内容</p> <p>榊引花と緑の会 (事務局：榊引庁舎総務企画課) が実施する、サルビアの植栽等費用に対して引き続き補助金を交付する。「花いっぱい運動」を今後も継続して行くため、地区の管理作業の省力化および賛助会員やボランティア等の運動を支える人を増やす方策を検討していく。</p> <p>【活動 (支援) 内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20地区の参加による花いっぱい運動とコンクールの実施 ・国道112号四車線区間へのサルビア植栽と肥培管理 ・運動を継続するために必要となる新たな方策の検討 				

